# 令和5年度(2023年度) 北アルプス連携自立圏 事業報告書



令和6年(2024年)7月

大町市·池田町·松川村·白馬村·小谷村

# 目 次

1	北	アルプス連携	· 善自立	圏	こつ	いて	-			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	令是	和5年度事業	美実施	状泡	兄の	概要	Ę			•		•	•		•	•	•	•	•		•		•		•	2
( ]	L) =	若い世代の結	5婚・	子育	育て	の肴	望	を	カゝ	な	え	る	取	組	み					•	•	•	•		•	2
(2	2) [	圏域への移住	・交	流の	の流	れを	<u>`</u>	<	る	取	組	み				•	•	•		•	•		•	•	•	3
( 3	3) 🕏	安心で確かな	暮ら	しる	を守	るた	_め	の	取	組	み				•	•	•	•		•	•	•	•		•	5
( 4	1) <	今後の方針		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
3	令	和5年度の事	業実	施壮	犬況			•			•			•	•	•	•	•		•	•			•	•	10
( ]	L) =	若い世代の絽	詩婚・	子育	育て	の肴	望	を	か	な	え	る	取	組	み					•	•		•	•	•	10
	ア	若者交流·	結婚	支担	爰		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10
	イ	子育て支援	Ž				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	11
(2	2)	圏域への移住	<b>・</b> 交	流の	の流	れを	20	<	る	取	組	み				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	12
	ア	移住交流		•				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	12
	イ	広域観光		•				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	14
	ウ	就労支援		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
( 3	3) 🕏	安心で確かな	暮ら	しる	を守	るた	_め	の	取	組	み				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
	ア	福祉		•			•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
	イ	医療・保健	<u> </u>				•	•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•			•	•	18
	ウ	圏域マネシ	ッメン	ト育	能力	の強	飳化				•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	19
	エ	公共施設 <i>0</i>	利用	促	隹		•	•			•		•		•	•	•	•		•	•			•		21
	オ	地域を支え	る人	.材育	育成	• 稻	雀保				•	•				•	•			•	•	•	•		•	22
	力	自然と暮ら	しの	調和	口							•				•	•								•	23

## 1 北アルプス連携自立圏について

#### 〇 概要

北アルプス圏域5市町村(大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村)では、地方創生の推進を契機として、北アルプス広域連合を中心に大北地域における新たな広域的な取組みについて検討を進め、平成28年(2016年)3月29日に地方自治法に基づく連携協約を締結し、具体的な事業内容や役割を定める連携ビジョンを策定することにより、「北アルプス連携自立圏」を形成した。

なお、令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)まで、第2期の連携ビジョンに基づき事業を展開する こととしている。



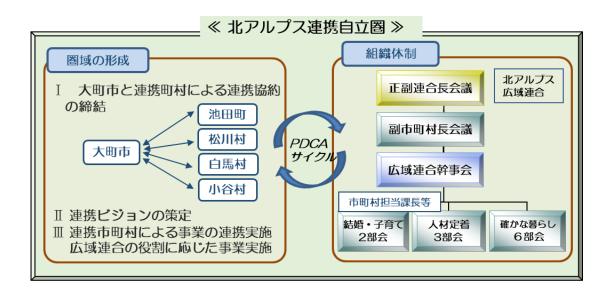
#### ○ 圏域形成の目的

人口減少・少子高齢社会にあっても、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる活力ある経済・生活圏の形成に協力して取り組むため、圏域全体の地域活性化及び生活機能を確保、充実させ、圏域への人材の誘導及び定着を促進する。

#### ○ 特徴

北アルプス圏域は、国の財政支援がある連携中枢都市圏や定住自立圏の対象にならない地域であるが、構成市町村自らが自主的・主体的に地方自治法による連携協約を交わして施策を展開しており、木曽地域とともに全国的にも例の少ない独自の取組みを行っている。

長野県では、連携中枢都市圏及び定住自立圏の対象とならない地域に対して、関係市町村からの求めに応じて圏域の形成及び取組みの強化・充実の両面において積極的に関与することとしており、北アルプス連携自立圏では、平成 28 年度から財政面・運営面での支援を受けている。



## 2 令和5度事業実施状況の概要

令和5年(2023年)3月に、連携ビジョンを変更し、「若者交流・結婚支援」「子育て支援」「移住交流」「広域観光」「就労支援」「福祉」「医療・保健」「圏域マネジメント能力の強化」「公共施設の利用促進」「地域を支える人材の育成・確保」「自然と暮らしの調和の11分野18事業に取り組むこととした。

各分野の具体的な取組みは、連携市町村及び県現地機関の担当課長及び担当者を委員とした北アルプス広域連携課題別専門部会等において検討・協議及び検証を行った。

なお、各事業は、次の2タイプに区分して実施した。

タイプ I: 大町市が中心となり連携町村とともに実施する事業

タイプⅡ:大町市と連携町村が相互に連携して実施する事業

## (1) 若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる取組み

① 若者交流·結婚支援

若者交流の場の創出や出会いの場を提供することで、結婚につながる若者交流 を支援し、圏域内への定住を促進する。

## 【令和5年度の取組み】

人口減少を食い止め、活力あふれる地域社会を創造するため、連携自立圏では若者の交流の場や出会いの機会を圏域全体で創出し、結婚につながる意識の醸成に取組むことで、圏域内への定住を促進する。

令和5年度は、圏域全体及び市町村独自に事業を実施し結婚につながる意識の醸成 や圏域内への定住の促進に取組んだ。

全国の自治体でも講演実績のある恋愛カウンセラーを講師に、コミュニケーション 力や恋愛観の醸成、異業種間交流を織り交ぜたセミナー及びワークショップを開催 した。

#### 【今後の取組み】

令和6年度は、20~30 代若者世代を対象とした異業種交流とライフプランセミナーを対面で開催したいと考える。セミナーを通じ自己啓発と恋愛観の醸成が期待できるが、一方で圏域内の独身男女をいかに集客するかが課題である。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
参加者の結婚につ						
ながった件数	_	_	0	0		9
(人)						

(北アルプス圏域全体)

#### ② 子育て支援

共働き世帯の児童の安全・健康管理と親の負担軽減を図ることにより、育児と 就労の両立等子育て世帯が暮らしやすい地域づくりにつながる子育て支援を推 進する。

#### 【令和5年度の取組み】

児童が病気の際に、保護者の就労等により家庭で保育を行うことが困難な圏域内の 乳児・幼児を対象とした病児保育を行うため、大町市立大町総合病院内に施設整備を 行い、令和2年10月1日から病児保育事業を開始した。

令和5年度の実績は、登録者数が84人、延べ利用者数が158人であった。

#### 【今後の取組み】

運営実績等を踏まえ、制度運用上の課題整理を行い、より多くの利用につながるよう、検討を行う。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
病児保育延べ利用者	10	0.1	100	150		250
数(人)	40	81	133	158		250

#### (2) 圏域への移住・交流の流れをつくる取組み

#### 移住交流

圏域として、関係人口の創出、拡大に向けた取組みを実施することにより、 圏域着との交流を促進し、定住人口の増加をめざす。

#### 【令和5年度の取組み】

圏域内への移住や交流を促進するため、圏域全体及び各市町村で事業を実施、地方 回帰の動きが高まる中、圏域全体の移住者数は、265人であった。

コロナ過を契機に、新たな出会いの場を手軽に提供するツールとしてオンライン 関係人口が注目されている。オンラインによる関係人口と地域との接触機会の拡大 は、関係人口の地域への興味を増進させ、圏域訪問を促す機会として関係人口の裾野 の拡大に寄与することが期待できることから、リアル交流の利点を活かした交流と 併せ、特に訴求効果が高い山岳ファン等に対するアプローチを重点的、戦略的に行い、 圏域とのつながりを創出・拡大に取り組む。

全国から北アルプス圏域のファン、特に山岳ファンにターゲットを絞った関係人口の創出、拡大を図るため、ポータルサイトを活用したコンテンツの提供を行うとともに、農作業や地域活動における担い手不足を圏域共通の課題として捉え、課題の解消と地域の「人」とのつながりを求める都市圏の若者等をつなぐボランティアワーキ

ング(体験型ツアー)を実施した。

## 【今後の取組み】

山と溪谷社との連携により構築した圏域ポータルサイトを、令和6年度において継続して活用、情報更新し、山岳ファン層に向けた関係づくりに努める。また、圏域や地域の人と関わることに興味のある都市圏等の若者や学生にボランティア参加を呼び掛け、圏域内の農作業や地域活動を担っていただき、圏域への愛着を育み、将来的に移住や二地域居住につながるきっかけづくりとして実施する。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
SNS フォロワー数(人)	_		950	3, 391		2,000
移住者数(人) (上段:年間、下段:累計)	-	-	286	265 551		850

<sup>※</sup>各数値は各市町村の報告によるもので、市町村により積み上げ方法が異なる場合がある。

#### ② 広域観光

産業連関分析の手法を用いて圏域全体の観光に関する経済活動の流れを把握、 分析し、観光振興に資する調査研究、分析結果の活用研修の実施。

#### 【令和5年度の取組み】

産業連関分析の手法を用いて圏域の産業構造や観光に関する経済活動の流れを定量的に把握、分析するため、令和2年度から令和4年度までの3か年で、圏域の地域間連結産業連関表の作成を行うとともに、これを活用し圏域内での経済循環に着目した観光振興施策につなげる取組みを行う。

令和5年度は、圏域内市町村において、観光業等の産業特性を踏まえた施策検討を 行うため、圏域内市町村別産業連関表及び地域間連結産業関連表の活用に向けた研修 会を行った。

#### 【今後の取組み】

令和5年度をもって事業終了。今後は、各市町村において、地域間産業関連表及び 地域経済の分析を実施、経済波及効果や費用対効果を勘案した効率的な予算編成等に つなげていく。

【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6) ※県観光地利用者統計調査結果から

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
観光地延べ利用者数 (万人)	431	411	538	652		770
観光消費額(百万円)	18, 573	17, 887	28, 911	39, 044		32, 500

#### ③ 就労支援

地元就職と定住人口の増加に資するため、公共職業安定所、職業安定協会等と連携し、企業説明会を開催する。

#### 【令和5年度の取組み】

今後圏域において生産年齢人口の急激な減少が見込まれる中、大北圏域の企業の人材確保、圏域出身学生のUターンの希望を実現させるため、ハローワーク大町、職業安定協会、県等との協働で、5月に新規学卒者等を対象とした企業説明会を開催し参加者は94人であった。

なお、令和5年度の企業説明会に向けた広報活動として、県内出身者や大学等への お知らせ、チラシの各戸配布、新聞広告による情報発信を行い、企業説明会への参加 を呼び掛けた。

## 【今後の取組み】

学生等の就業機会の確保及び圏域内企業の人材確保支援に資するため、関係機関と 検討をした結果、事業を継続し連携を図りながら令和5年度から単独事業として事業 を展開。

## 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項	目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
企業説明会都 (人)	参加者数		188	115	94		110

#### (3) 安心で確かな暮らしを守るための取組み

#### ① 福祉

圏域住民が安心して地域で生活ができるよう、成年後見支援センター、消費 生活センター、障がい者相談支援業務を実施することにより、各種相談、支 援体制の充実を図る。

#### 【令和5年度の取組み】

高齢者や障がいのある方の権利保護を目的とする成年後見支援センター運営事業では、成年後見制度の説明や相談、法人後見受任等を行い、申立手続き、財産管理等119件の相談に対応し、受任した法人後見は累計で36件となった。

消費生活センター運営事業では、昨今の特殊詐欺や悪質商法の増加を反映し、通信 販売や電話勧誘販売など、年間 225 件の相談に対応した。

障がい者相談支援事業では、圏域内から支援サービス、症状理解、不安解消等に関する延べ1,159件の相談に対応しており、圏域住民の暮らしや各市町村業務の大きな支えになっている。

#### 【今後の取組み】

圏域市町村による行政サービスとして、引き続き圏域住民に認知、活用していただけるよう一層の周知を行いながら取組みの継続、充実を図る。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

(単位:件)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
成年後見相談件数	89	83	78	119		250
累計法人後見受任件数	24	29	33	36		27
消費生活相談件数	218	192	223	225		330
障がい者相談支援件数	893	1, 206	1, 016	1, 159		800

#### ② 医療・保健

様々な悩みに対応する相談会や圏域住民の健康づくりに対する意識の高揚と知識の習得を図るため、健康づくり講演会を行う。また、屈折検査機器による未就学児等の眼科屈折検査を実施し、視覚機能発達の阻害因子を持つ子どもの早期発見を図る。

#### 【令和5年度の取組み】

心身の健康、法律上の問題、生活困窮、就労など、住民が抱える様々な悩みに対して、各専門家が相談に応じる「こころ・法律・仕事のなんでも相談会」を、8月に実施し、30人の方から相談があった。

健康づくり講演会は、「糖尿病と肝臓の深~い関係」をテーマに 11 月に開催し、参加者 162 人となった。

未就学児の眼科屈折検査は、3歳児健診等で575人の検査を行い、うち41人を要精 検と判定。早期受診、早期治療につなげた。

#### 【今後の取組み】

「なんでも相談会」については、地域住民の心の健康づくりの推進としても、果たす役割は大きいことから、実施方法等を工夫しながら継続的に取り組む。健康づくり講演会についても引き続き開催することとし、未就学児の眼科屈折検査も早期の異常発見、早期治療に高い効果が認められることから、継続的に取組む。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
相談会·講演会参加者 数(人)下段:相談会	22 22	91 16	157 13	192 30		180
数 (八) 下权, 阳欧云	22	10	10	30		
未就学児眼科検査 検診受検者数(人)	723	623	659	575		500

#### ③ 圏域マネジメント能力の強化

業務のノウハウの情報交換・人的交流を行い、職員の資質向上を図るととも に、先進技術を活用した行政事務の効率化について共同で研究を進め、圏域全 体の行政力の向上を図る。

#### 【令和5年度の取組み】

職員の政策遂行力の向上や人的なネットワークの構築といった職員の資質向上に向け、連携市町村事業として職員研修・交流事業の開催、合同研修に取り組んだ。

また、令和2年度から、RPA等の先進技術を活用した行政事務の効率化・省力化に向けた検討を圏域で進めることとし、行政内部事務の効率化・省力化の取組みと情報セキュリティ研修会を実施した。

#### 【今後の取組み】

圏域市町村が相互乗入研修等を引き続き開催し、職員が受講できる体制を整えることにより、資質の向上、交流強化を図り、圏域全体の行政力の向上を図る。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

		•				
項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
統一テーマ合同研修 参加者数(人)	45	152	194	46		70
相互乗入型職員研修 実施回数(回)	2	2	0	0		14
累計行政事務効率 · 共同化件数 (件)	_	_	_	_		5

#### ④ 公共施設の利用促進

住民の利便性の向上と図書館の利用促進を推進するため、図書館の共同利用を進める。

## 【令和5年度の取組み】

5 市町村の図書館の相互利用を促進するため、住民がどの図書館でも無料で図書館 資料の貸出又は返却ができるよう、図書輸送システムの運用を実施した。

また、令和2年度から、情報提供力の向上を図るため、新聞社の記事データベースの共同利用の取組みを開始したところ、延べ2,275件の利用実績があった。

利用者数は 61,815 人と対前年度比 107.4%となり事業開始以来、一貫して実績を積み上げている。図書等輸送実績は 6,503 件で対前年度比 89.7%と、利用件数の減少がみられたものの依然多くの需要があり北アルプス圏域図書館のサービスに欠かせないものとなっている。

#### 【今後の取組み】

図書館の相互利用促進を図るための図書輸送システム及び新聞記事データベース

の提供を実施。各取り組みについては着実に定着していると言えるが、より効果的な 事業となるよう、内容について検討していく。

## 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
図書館利用者数 (人)	60, 853	53, 072	57, 559	61, 815		72,000
図書館利用カード新 規発行数(件)	1, 145	1,036	1, 260	1, 178		1, 300
図書等輸送件数 (件)	6, 396	6, 825	7, 247	6, 503		4, 800

<sup>※</sup>各図書館集計による

## ⑤ 地域を支える人材の育成・確保

地域ファシリテーターの素養を持った人材の養成により、地域の多様な活動の活性化や地域課題の解決に向けた取組みを促進する。

## 【令和5年度の取組み】

圏域で地域ファシリテーターの養成に向けた取組みを推進するため、圏域住民、市 町村職員を対象とし研修会を2回開催し、参加者58人となった。

#### 【今後の取組み】

地域の多様な活動を支え、地域課題の解決に向けた取組みを促進するための人材と して期待される地域ファシリテーターの養成について、継続的に取組む。

#### 【圏域ビジョン評価指標】(R2~R6)

項	Ш	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
ファシリテー 研修累計参加 (人)		-	20	51	58		200

#### ⑥ 自然と暮らしの調和

森林経営管理制度の円滑な運営と圏域の森林整備、林業振興に向けた体制整備を行い、圏域の林業施策を推進する。

#### 【令和5年度の取組み】

森林経営管理促進事業として、専門的な知識・技術を持った県職員の派遣により、

市町村への森林経営管理制度の推進・指導・助言・情報提供等の支援。

また、圏域5市町村で「北アルプス森林林業基本計画」を策定し、圏域で連携して 取り組む森林経営管理の基本方針、実行計画、その推進主体の役割の明確化をする。

## 【今後の取組み】

森林経営管理制度の円滑な運営と圏域の森林整備、林業振興に取組み、令和 6 年度では、圏域のグランドデザイン(中長期計画)の策定を行う。

## (4) 今後の方針

人口減少が進む地域の活力の創出や圏域共通の課題解決に向けた取組みに加え、Society5.0及び地域を支える人材の育成・確保など、新たな課題にも着目した事業に取り組むとともに、気候変動、ゼロカーボン等の今日的な環境課題を見据えた圏域の森林整備、林業振興に向けた体制整備について、第2期連携ビジョンに基づき着実に推進する。

事業の実施に当たっては、引き続き圏域市町村と県が緊密に連携・協力しながら取り組むこととし、「多様性を活かした魅力づくりと活力の創出による心豊かな圏域」、「将来にわたり安心して暮らし続けられる圏域」の実現を目指す。

# 3 令和5年度の事業実施状況

## (1) 若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる取組み

#### ア 若者交流・結婚支援

## 若者交流 · 結婚支援事業

₩. <del></del>	若者の出会いの機会の提供や恋愛に対するセミナーやワークショップの講
概要	座を開設し、結婚に向けた意識の醸成を図り、結婚支援を行う。
が田	若者交流や出会いの機会創出を通じて、結婚に対する意識の醸成を図ること
効果	により、若い世代の結婚、圏域内への定住につなげる。

## 【実績】

## (中心市連携) タイプ I

若者の交流の場や出会いの機会を圏域全体で創出し、結婚につながる意識の醸成に 取組む、恋愛カウンセラーである羽林由鶴氏を講師に、異業種間交流を織り交ぜたラ イフデザインセミナーを開催し、圏域内の事業所人事担当・人財育成担当部署に社 員・職員の勤務時間内の参加に理解と協力を求めた。

「異業種交流&ライフデザインセミナー」 2/29 開催 参加者 19 人

## (市町村連携)タイプⅡ

大町市が独自に事業を実施し結婚につながる意識の醸成や圏域内への定住の促進に 取組んだ。

市町村	事 業 名	事 業 内 容
	移住×婚活事業	圏域への移住希望のある 20 代から 40 代の単身男女を対象 に都市圏における移住セミナーの開催ともに参加者交流を 実施。 参加者 8 人
大町市	結婚相談所「ハピ ネスサポートセン ター」運営事業	ながの結婚マッチングシテムの利用を通じた広域的な出会いの機会の創出することによる結婚支援の推進。 チラシの作成、配布 結婚相談所登録者数:1人
池田町	池田町若者交流イベント開催事業	イベントを通じて圏域市町村における若者の交流から若者 同士のネットワーク形成を図り、更に出会いの機会を創出 するため、屋内スポーツイメント等を開催。 全15回 参加者170人
松川村	結婚マッチングシ ステム利用促進事 業	マッチングシステムへの登録により、結婚相手の検索が容易にでき、結婚に対するハードルが下がるとともに結婚への意識の高揚を図った。 登録者 7人
小谷村	小谷村若者ふれあ い事業	若者交流(結婚支援)、移住促進対策、花嫁講座としての個人のスキルアップの3要素を兼ね備えた体験交流イベントを開催。 参加者7人

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
991	158	161	54	421	1, 785

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

令和6年度は、圏域への移住意向のある都市圏の独身男女を対象とした異業種交流&ライフプランセミナーを対面で開催する。圏域内の独身男女をいかに集客するかが課題である。

#### イ 子育て支援

病児保育運営事業 (中心市連携) タイプ I

HIIT 1995	病気にり患し、かつ保護者の勤務等により家庭で保育を行うことが困難な圏
概要	域内の乳児・幼児を対象として病児保育を行う。
	病児保育で共働き世帯の児童の安全・健康管理と親の負担軽減を図ることに
効果	より、育児と就労の両立等子育て世帯が暮らしやすい地域づくりの推進につ
	ながる。

#### 【実績】

児童が病気の際に、保護者の就労等により家庭で保育を行うことが困難な圏域内の 乳児・幼児を対象とした病児保育を行うため、大町市立大町総合病院内に施設整備を行い、令和2年10月1日から病児保育事業を開始した。

#### ○ 事業概要

• 開設場所:大町市立大町総合病院 西棟3階 (面積:約39 m²)

・開所日等:月曜日から金曜日 8:00~18:00 (土日祝日、12/29~1/3 休業)

•利用人員:最大4名

・職員体制:保育士2名(利用児童2名当たり1名配置)、看護師1名

・利用料:無料(保護者が圏域内に住所がある、又は圏域に勤め先がある、若しくは、 圏域内の保育所等に通所している児童)

#### ○ 利用実績 (R5.4.1~R6.3.31)

(単位:人)

	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	計
登録者数	48	2	20	12	2	0	84
実利用者数	52	2	26	8	0	4	92
延べ利用者数	78	6	38	30	0	6	158

#### 【事業費】

(単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
4, 282	1,662	1,734	1, 548	610	9, 836

(子ども・子育て支援交付金活用)

#### 【今後の取組み】

運営実績等を踏まえ、制度運用上の課題整理を行い、より多くの利用につながるよう、 検討を行う。

## (2) 圏域への移住・交流の流れをつくる取組み

#### ア 移住交流

## ① 関係人口創出事業

	当圏域や特に山岳ファンにターゲットを絞った関係人口の創出、拡大を図
<del>/</del> m <del>au</del>	るため、ポータルサイトを活用したコンテンツの提供及び地域と人とのつ
概要	ながりを求める都市圏の若者等をつなぐボランティアワーキングホリデ
	ー (体験型ツアー) を実施する。
	常設のポータルサイトを活用し小冊子等の情報発信することにより圏域
*\ H	の暮らしに興味を持ち、二地域居住及び移住につながるファン獲得が図れ
効果	た。また、人口の創出、拡大に向けた滞在プログラムを実施する取組みに
	より、圏域の訴求力の向上につながり、再訪、移住者の増加につなげる。

## 【実績】

## (中心市連携) タイプ I

○ポータルサイトを活用した関係人口の創出・拡大

アウトドアや山岳ファンに対する訴求を高めるため、山と渓谷社WEBサイト「ヤマケイオンライン」内に圏域のポータルサイトを活用し、地域住民との交流イベントや体験ツアー等の告知PR、お試し住宅情報など、圏域の関係人口のマッチングに配慮したコンテンツの提供を行った。

- ・アクセス数 : 48,531 ・インプレッション数:632,514
- ボランティアワーホリ「北アルプス関わり隊事業」

圏域内にある特色ある地域活動や農作業体験を組み合わせ、2泊3日の滞在プログラムを3回に集約して実施した。募集集客を(株)SAGOJOに業務委託したところ、多くの申込みがあったことや、実施を通じて当地でしかできない体験や地域住民との交流を求める若者層が多くいることがわかった。

- ①子ども自然学校・子どもカフェの運営(松川村)参加者4人
- ②切久保棚田の稲刈り (大町市)・ハーブとの触れ合い体験(池田町)参加者5人
- ③村ガチャ in Hakuba Valley 運営(白馬村)・ユネスコ無形文化遺産「茅刈り」(小谷村)参加者 5 人

参加者合計 14 人(応募者数 36 人)

## (市町村連携) タイプⅡ

市町村ごとに移住相談やPRを行うとともに、連携して圏域全体の移住関連情報の 提供を実施した。

市町村	事 業 名	事 業 内 容
	「SDGs×水 ×土」をテーマ にした現地ツア ー	北アルプス山麓を起点とした豊かな「水」とともに育んだ暮らしや圏域の文化・産業を体感してもらう体験型移住ツアーの開催。 参加者46人
	しなのおおまち ワーキングホリ デー事業 お試し暮らし体	都市圏等の若者を地域に受け入れ、労働力不足を補填するとともに余暇を利用して圏域内の魅力を体感する事業。 ・受入事業者3、参加者滞在延べ日数313日 大町市を拠点として、市内及び圏域内の移住後の仕事探しや
大町市	験事業	居住探し事業。 ・利用者合計 20 人
	ほっこりセット 送付事業	当市のほか圏域での暮らしに関心がある方に、感謝と歓迎の 気持ちを込め、北アルプス国際芸術祭前売りチケット等を送 付。
	関係人口アドバ イザー事業	アドバイザー7名を委嘱し、大町市を拠点として圏域の様子や 特色などへの相談対応や、移住後の地域への溶け込み支援、 地域の魅力発信。
	ネット関係人口 拡大事業	当市及び圏域地域に関心の高い者を圏域へ積極的にスカウト し、ネット関係人口の拡大を図った。
池田町	動画を利用した 関係人口創出・ 拡大	池田町や圏域を身近に感じていただく動画を作成し、圏域の 紹介やワーケーション等を実践できる施設等を紹介すること で、当地域との関係人口の拡大に寄与した。 ・年間を通じ、合計9本の動画を作成。
	関係人口等創出 情報発信事業	農業ファン獲得のための情報発信をすることにより、地域の 魅力や北アルプス地域の情報発信を図った。 ・パンフレットの作成
松川村	関係人口等創出 ノベルティ制作 事業	松川村と当圏域の魅力向上とPRのため、ノベルティ天然水 12,000本の制作。
	関係人口等促進 アドバイザー設 置事業	住民目線のより具体的な情報発信やアドバイスを実施し、希望者ニーズに沿った相談や情報発信を行った。 ・関係人口等促進アドバイザー6名 年間 延べ47回
白馬村	関係人口増加を 目的とした移住 セミナー出展	東京交通会館内特設会場で開かれたセミナーに参加。長野県 全域対象のフェアで、県内の情報共有ができ、北アルプス圏 域にとっても良い出展であった。
小谷村	ワーケーション 対象者向け農業 体験ツアーの実 施	小谷村で実践できるワーケーションとして、5 泊 6 日の農業等体験ツアーを実施し、小谷村ファンの増加を図った。 ・参加者数 5 人
	移住+ワーケー ション対応HP の構築改修	小谷村で実践できるワーケーション情報を掲載したホームページの改修。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	盐
9, 230	1, 425	2, 730	1,070	1, 528	15, 983

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

山と溪谷社との連携により構築した圏域ポータルサイトを活用、情報更新し、山岳ファン層に向けた関係づくりに努める。また、圏域内に関心をもつ圏域外の若者に、圏域内の特色ある取組みにボランティア参加を呼び掛け、地域との関わりを深めてもらう事業を実施する。

## イ 広域観光

**観光による経済波及状況調査事業** (中心市連携) タイプ I

	圏域内市町村職員により観光業等の圏域内における産業特性を踏まえ
HIIT <del>THE</del>	た施策検討の活用に向け、政策形成力を高めるとともに、経済波及効果
概要	や費用対効果を試算し、効率的な予算編成等につなげることを目的とす
	る。
	圏域全体の経済活動の流れに加え、他地域間との経済取引状況を定量的
効果	に把握・分析し、関連産業の多い観光業のほか、圏域の産業特性を踏ま
	えた施策検討に資する。

#### 【実績】

圏域内市町村において、観光業等の圏域内における産業特性を踏まえた施策検討を行うため、長野県観光機構に委託し、圏域内市町村別産業連関表及び地域間連結産業連関表の活用に向け、地域づくり施策の効果を「見える化」するために、できるだけ実践的演習による研修会を開催した。

- ・地域間産業連関分析に係る研修会(5回) 参加者206人
- ・地域間産業連関表の活用や分析に関する問合せについてアドバイザーによる対応
- ・地域間産業連関表及び地域経済の分析に関する統計手法の提案

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
827	149	229	701	217	2, 123

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

令和5年度をもって事業終了。今後は、各市町村において、地域間産業関連表及び地域経済の分析を実施、経済波及効果や費用対効果を勘案した効率的な予算編成等につなげていく。

## ウ就労支援

新規学卒者等就職支援事業 (中心市連携) タイプ I

	₩. <del></del>	公共職業安定所、職業安定協会、圏域市町村が連携し、企業と新規学卒
	概要	者等を対象とした企業説明会を開催する。
Ī	が田	企業説明会の開催により、出身学生や在住学生等に対し、当圏域企業の
	効果	理解を深めることにより、圏域内への就職につなげる。

## 【実績】

企業説明、就職面接会の開催を通じて新規学卒者や地元高校生が圏域所在企業の事業 や働き方などに対する理解を深めることにより、圏域内への就職に繋げた。

○企業説明会(就職面接会)の実施

令和5年5月1日(月)場所:アプロード

参加企業 32 社、参加者数 94 人

○企業説明会(就職面接会)の広報活動(チラシの配布、ポスター掲示 等)

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
249	96	101	90	35	571

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

学生等の就業機会の確保及び圏域内企業の人材確保支援に資するため、事業を継続し連携を図りながら令和4年度から単独事業として事業を展開。

## (3) 安心で確かな暮らしを守るための取組み

ア 福祉 (中心市連携) タイプ I

①成年後見支援センター運営事業

#III ##	圏域市町村が連携して、成年後見支援センターの運営業務を大町市社会
概要	福祉協議会へ委託し、成年後見支援業務を実施する。
许田	成年後見や権利擁護に関する相談、助言、各種支援、普及啓発等を一元
効果	的・総合的に行うことで住民サービスが向上する。

#### 【実績】

圏域市町村が連携して、北アルプス成年後見支援センターの運営業務を大町市社会福祉協議会へ委託し、成年後見支援業務を実施した。

○制度利用に関する相談・支援件数:119件(対前年度比 152.6%)

圏域の住民、行政職員、高齢者・障がい者福祉、医療機関の関係者等から、後見制度全般、申立手続き、財産管理等の相談を受け助言を行った。また、必要に応じて専門職による相談への橋渡しを行った。

年度	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	その他	計
R5年度	71	17	7	7	9	8	119
R4年度	40	6	3	20	4	5	78

## ○法人後見受任:累計36件

本人の財産から報酬が見込めず個人の後見人による受任が困難な事案や、本人の行動等から個人の後見人による受任が困難な事案について、センターが後見人となり後見業務を行った。

## ○普及啓発

成年後見制度普及啓発研修会・講演会を 4 回開催 (会場及びオンライン開催) し 127 人の参加があった。また、広報紙等による広報活動を実施した。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
3, 109	1, 207	1, 259	1, 124	442	7, 141

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

関係機関とも連携を図りながら、引き続き事業を実施していくとともに、相談会、講演会の開催等による制度の周知や普及啓発を推進する。

また、各市町村で策定した成年後見制度利用促進計画を推進するための受け皿として、 活用方法等の検討を進める。

## ②消費生活センター運営事業

HIII <del>1111</del>	圏域市町村が連携して、大町市消費生活センターに相談員を配置し、消
概要	費生活に関する相談・救済と被害拡大防止を行う。
	複雑・多様化する消費生活に関する相談、あっせん、助言等を一元的・
効果	総合的に行うことで住民サービスが向上し、町村各課も助言・支援が得
	られる。

#### 【実績】

圏域市町村が連携して、大町市消費生活センターに相談員を配置し、圏域内の住民からの相談に対応した。

○ 消費生活相談件数:225件(大町市消費生活センター対応分)(対前年度比100.9%) 消費生活相談員が、圏域の住民等から通信販売、電話勧誘販売、訪問販売、店舗購 入等の相談を受け、必要に応じて助言や専門機関への橋渡しを行うとともに、圏域 市町村への注意喚起を行った。

年度	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	計
R5年度	129	21	32	33	4	6	225
R4年度	133	30	27	23	6	4	223

【事業費】 (単位:千円)

	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
Ī	2,032	788	824	735	289	4, 668

(消費者行政活性化事業補助金活用)

#### 【今後の取組み】

各市町村、県中信消費生活センター等と連携しながら、引き続き圏域住民からの消費 生活に関する相談に対応するとともに、圏域内の自治会等からの要請に応じて出前講座 を実施するなど、市町村が連携して啓発活動を強化する。

## ③障がい者相談支援事業

HIII. THE	圏域市町村が連携して、障がい者の相談支援業務を大北圏域障がい者総
概要	合支援センター(スクラムネット)へ委託して実施する。
が田	障がい者に関する相談、助言、各種支援、普及啓発等を一元的・総合的
効果	に行うことで住民サービスが向上する。

#### 【実績】

圏域市町村が連携して、障がい者相談支援業務を大町市社会福祉協議会に委託し、大 北圏域障がい者総合支援センター(スクラムネット)が圏域住民からの相談を受けると ともに、圏域市町村、関係機関と連携して支援を行った。

○ 相談支援件数:1,159件(対前年度比114.1%)

福祉サービス、不安解消、症状理解、経済関係、就労、健康・医療、社会参加等の幅広い相談に対応するとともに、必要に応じて圏域市町村、関係機関と連携して支援を行った。

年度	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	計
R5年度	401	240	292	70	122	34	1, 159
R4年度	446	148	267	69	78	8	1,016

※市町村に関係のない支援の相談など市町村の把握ができない案件等を除く。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
5, 514	2, 140	2, 233	1, 993	785	12, 665

(地域生活支援事業補助金活用)

#### 【今後の取組】

引き続き障がい者に関する相談、助言、各種支援、普及啓発等を一元的・総合的に行うことにより、圏域全体の住民サービスの向上を図る。

## **イ 医療・保健** (中心市連携) タイプ I

## ①こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催事業

<b>HIII TIT</b>	住民が抱える様々な悩みに対して、弁護士、精神科医等各分野の専門家
概要	が連携しながら、相談に応じる相談会を実施する。
	複合的な悩みを抱える住民からの相談に、各分野の専門家が連携して対
効果	応することにより、総合的な支援が図られ、自殺予防に資することが期
	待される。

#### 【実績】

心身の健康、法律上の問題、生活困窮、就労など、住民が抱える様々な悩みに対して、弁護士、精神科医、保健師、社会福祉士等の各分野の専門家が連携しながら、相談に応じる相談会を開催した。

開催時期:令和5年8月28日(月)

•会場:大町公民館分室

·相談者数:30人

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
66	25	26	24	9	150

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

相談者の満足度も高いため、より多くの相談者が参加できるよう、実施方法等を工夫しながら引き続き実施していく。

## ②健康づくり意識啓発事業

概要	圏域市町村が連携し、住民の健康づくりに対する意識の高揚と知識の習得を図るため、圏域で健康課題となっている生活習慣病等に関する講演会を開催する。
効果	講演会を通じ、生活習慣病の知識を習得し、予防意識を高め自らの健康
沙木	管理に活かすことで、医療費の適正化や健康長寿につながる。

#### 【実績】

健康上のテーマについて、有識者を招いて講演会を開催。

テーマ「糖尿病と肝臓の深~い関係」

講師:浅間総合病院糖尿病センター顧問 仲元司医師

開催日:令和5年11月8日(水)

会場:ハイブリット形式(主会場:すずの音ホール、他2会場)

参加者:162人

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
28	11	11	10	4	64

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

## 【今後の取組み】

圏域で共通する様々な健康上の課題について学ぶ場を住民に提供し、住民が健康に関する知識や意識を高める機会を提供していく。

## ③未就学児眼科屈折検査事業

#III ###	未就学児等を対象に、圏域市町村が共同で導入した屈折検査機器によ
概要	り、視覚検査を実施する。
が 田	眼科屈折検査機器による未就学児等の検査実施により、視覚異常の早期
効果	発見、早期治療により、将来を担う子どもたちの健全な育成を支援する。

## 【実績】

未就学児の眼科屈折検査を圏域全体で推進するため、専用の検査機器を圏域市町村共同で購入し、市町村ごとに3歳児健診、保育園等健診の際に検査を実施した。

要精検と判定された児童には、眼科への早期受診を呼びかけ、早期治療につなげた。



○ 検査人数 575人 うち41人を要精検(精検率7.1%)と判定

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
_	_	_	_	_	

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

未就学児の視覚異常の早期発見、早期治療の促進のための貴重な機会として、引き続き実施していく。

#### ウ 圏域マネジメント能力の強化

(中心市連携)	タイプ I	1		
(市町村連携)	タイプⅡ	②、	(3),	4

## ①統一テーマ合同職員研修事業

概要	連携市町村が毎年度共通するテーマによる合同研修を開催する。
	共同開催による効率的な運営はもとより、圏域の将来像を見据えたマネ
効果	ジメント能力を強化するとともに、他市町村職員との交流による情報交
	換・連携拡大が図られ、圏域全体の行政力向上に資する。

### 【実績】

地域経済分析システム (RESAS) 活用研修の実施

開催日 : 令和6年1月29日(水)・30日(木)

開催方法: オンライン及び実地研修 参加者数: 圏域市町村職員 46人

【事業費】 (単位:円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
88	34	35	31	12	200

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

圏域市町村が連携して、喫緊の行政課題、法改正に伴う制度改正等に応じて共同開催による研修を継続的かつ効率的に実施し、圏域の市町村職員のマネジメント能力の強化を図る。

## ②相互乗入型職員研修事業

HIII 11111	連携市町村が開催する研修会に、他市町村職員の受講を可能とし、職員
概要	研修機会の確保及び拡充を図る。
	市町村研修に相互乗入することによる研修項目の多様化・効率化、参加
効果	人数の拡大、職員交流による情報交換・連携拡大が図られ、圏域全体の
	行政力が向上する。

## 【実績】

白馬村で実施した「気候変動を学ぼう」の研修を相互乗入型職員研修として、圏域市町村に参加を呼びかけ実施した。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
_	_	_	_	_	

#### 【今後の取組み】

圏域市町村、県が連携して、引き続き可能な範囲で研修への相互乗入を行うことにより、圏域全体の市町村職員が多様な研修に参加できる機会を確保し、資質の向上、職員同士の情報交換・連携拡大を促進する。

#### ③職員交流事業

概要	連携市町村職員の交流を主とした研修・情報交換により職員交流を促			
進する。				
が田	職員交流による情報交換・連携拡大が図られ、圏域全体の行政力が向			
効果	上する。			

#### 【実績】

連携市町村職員の交流を主とした研修等を検討したが、実施できなかった。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
_	_	_	_	_	_

#### 【今後の取組み】

必要な職員交流事業について、取組みを進める。

## ④職員相互派遣事業

概要	連携市町村が協議により相互に職員の派遣を実施する。					
₩ H	それぞれの職員が地域的課題や業務ノウハウ等を共有し、お互いの能力					
効果	を高め、圏域全体の行政力が向上する。					

#### 【実績】

実施なし。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
_	_	_	_	_	_

#### 【今後の取組み】

保育士の相互派遣については、派遣対象の候補者が少ないといった課題が顕在化していることから、今後の相互派遣のあり方も含め、検討する。

## エ 公共施設の利用促進

図書館相互利用促進事業 (中心市連携) タイプ I

+mr <del>au '</del>	圏域住民に、市町村管内住民と同一の基準で各図書館に所蔵する資料を
概要	提供することにより、図書館の相互利用を実施する。
効果	利用可能な図書館が増え、圏域住民の利便性の向上と生涯学習の機会の
	充実が期待される。

#### 【実績】

利用者の利便性向上、図書館の相互利用を進めるため、圏域の図書館利用者が各図書館に所蔵する資料をどの図書館でも貸出や返却ができるよう、各図書館を週2回巡回して図書の受け渡しを行う図書輸送業務をシルバー人材センターに委託し実施した。図書輸送件数は年間6,503件、月平均542件(前年度比89.8%)と利用件数に減少がみられたものの当該事業への需要は高く、図書館利用者数が61,815人(対前年度比107.4%)となるなど、各図書館の利用促進に一定の効果を示している。また、情報提供力の強化を図るため、信濃毎日新聞記事データベース及び朝日新聞記事データベースを圏域市町村の図書館で閲覧ができるサービスを開始したところ、延べ利用件数は2,275件となった。

○輸送件数: 6,503件(542件/月)

年度	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	図書以外	計
R5年度	1, 235	868	1, 254	2, 543	544	59	6, 503
R4年度	1, 504	757	1, 578	2, 938	448	22	7, 247

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
736	286	298	266	105	1, 691

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

## 【今後の取組み】

図書館の相互利用促進を図るための図書輸送システム及び新聞記事データベースの提供を実施。各取り組みについては着実に定着していると言えるが、より効果的な事業となるよう、内容について検討していく。

## オ 地域を支える人材の育成・確保

**地域ファシリテーター養成事業** (中心市連携) タイプ I

₩ <del>Ж</del>	圏域住民、市町村職員等を対象とした研修会を実施することにより、ファシ				
概要	リテーターとして、主体的に地域活性化の活動を支える人材を養成する。				
効果	地域ファシリテーターの素養を持った人材の輩出により、地域の多様な活動				
	の活性化や地域課題の解決に向けた取組みの促進が期待される。				

## 【実績】

圏域で地域ファシリテーターの養成に向けた取組みを推進するため、圏域住民、市町 村職員を対象とし研修会を開催した。

①ファシリテーション講座

「WEB サービスで手軽におしゃれなチラシをつくろう!」

開催日:令和5年7月18日(火)

会 場 : ハイブリット方式(主会場: 大町市役所、各町村 ZOOM 接続)

参加者数:地域住民、市町村職員38人

②ファシリテーション講座

「素早くカンタンに発信力アップ スマホでできる!はじめての動画づくり」

開催日:令和6年2月27日(火)

会 場 : 大町市役所

参加者数:地域住民、市町村職員20人

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
44	17	18	16	5	100

(市町村の広域連携推進事業交付金活用)

#### 【今後の取組み】

地域の多様な活動の活性化や地域課題の解決に向けた取組みを支援するため、事業の

推進を図る。

## カ 自然と暮らしの調和

# 森林基本情報整備事業 (中心市連携) タイプ I

概要	森林経営管理制度の運営に当たり、森林管理に必要な基本情報を統合・デジタ
(	ル化した森林基本情報図を圏域全体で作成する。
効果	森林管理に必要な情報整備について、圏域一体で一括発注することによるスケ
	ールメリットや将来的な事務の連携に向けた取組みに資する。

## 【実績】

専門的な知識・技術を持った県職員の派遣により、市町村への森林経営管理制度の推進・指導・助言・情報提供等の支援を行った。

- ・ 森林経営管理制度の円滑な運営
- ・「北アルプス森林林業基本計画」を策定し、圏域で連携して取り組む森林経営管理の 基本方針、実行計画、その推進主体の役割を明確化した。

【事業費】 (単位:千円)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	計
12,620	1, 501	767	2,734	4, 230	21, 852

(森林経営管理制度広域連携体制支援事業補助金、森林環境譲与税)

#### 【今後の取組み】

令和6年度では、昨年策定した「北アルプス森林林業基本計画」に基づき、森林経営 管理制度の円滑な運営と圏域の森林整備、林業振興等に継続的に取組む。

森林整備に必要な知識の習得のため、研修等を開催する。